



桜の花が咲き、春らしさを実感する4月となりました。日本では、4月に新年度や新学期の始まるころが多いため、子どもさんやお孫さんの進学、就職など忙しい日々が続いている方も多くおられるのではないかと思います。

当院においても、医師や看護師など職員の退職・転勤があり、職員一同、新たな気持ちで患者・家族の皆様をお迎えする準備を整えました。また、病院の機能面では、内視鏡検査の体制強化や健診部門の充実など、新たな取組を進めているところです。

安芸津病院は、病気やけがをした時だけでなく病気の予防や健康管理など、皆様の身近にあっていつでも頼れる病院を目指して頑張りますので、今年度もよろしくお願ひします。



## 新任医師紹介



整形外科副部長  
中川 寛顕



4月より安芸津病院へ赴任になりました。臨床研修医を修了後平成20年に整形外科に入局し今年で整形外科6年目を迎えます。外傷を中心に、整形外科全般を診させていただきます。地域医療に貢献できるように頑張ります。宜しくお願い申し上げます。

## ふれあいロビーご利用下さい

県立安芸津病院1階ロビーに語らいのスペースを作りました。皆様が親しんでいただけるようネーミング募集したところ10余り応募をいただき『ふれあいロビー』と決まりました。入院案内や楽しく見れる転倒予防のDVDも放映しています。今年度は、糖尿病等のミニ講座も開催します。是非、多くの人と人が交流を持たれ語らいの場となりますようにご利用ください。



## 転倒予防に関する講演会開催

「これだけは知っておきたい転倒予防の心がけ」

講師 武藤 芳照先生  
転倒予防医学研究会 代表世話人  
東京大学総長顧問/名誉教授  
日時 平成25年5月25日(土) 10~11時  
場所 安芸津生涯学習センター1階大集会場  
対象 地域のみなさん(施設等関係者含む)  
安芸津地域外からも大歓迎!多数の方の参加をお待ちしています。[無料]

## 医療公開講座開催

平成25年6月8日(土) 13:30~大崎上島ホール神峰にて医療公開講座を開催いたします。今回は、整形外科より、「腰・股関節・膝の痛みについて」、内科より、「内視鏡検査のすすめ」の講演等を予定しています。ふるってご参加いただきますようにご案内いたします。



## 内視鏡検査ステーション開設

このたび胃カメラ(胃内視鏡)や大腸カメラを行う内視鏡検査室をこれまで以上に充実・発展させるため、「内視鏡検査ステーション」を立ち上げました。

具体的には、まずは大きく二つの点で地域の医療ニーズに応えたいと考えています。

一つ目は、苦しいイメージが強い胃カメラ検査をより楽に受けていただくことです。そのために、今年3月から経鼻内視鏡を1台から2台に増設しました。経鼻内視鏡とは鼻から挿入する胃カメラです。口から挿入する胃カメラと比べて、太さは約半分と非常に細くなっています。鼻から挿入することで内視鏡が舌の付け根に触れないために、挿入時の嘔吐感がほとんどなく楽に検査が受けられることが最大の長所です。経鼻内視鏡を増設することで、より多くの患者さんに楽に胃の検査を受けていただくことが可能になります。



二つ目は、地域で開業されている医院(クリニック)の先生方との連携をより強化していくことです。医院の先生方の中には自ら内視鏡検査をされているところもありますが、多くは当院を含めた他院へ紹介されているのが実情です。そこで、医院の先生方があたかも自院で内視鏡検査を行なっているかのような円滑で安心な内視鏡検査紹介をしていただけるシステムの構築に取り組んでいます。

これらの取り組みによって、癌・ポリープ・潰瘍・ピロリ菌感染胃炎(除菌治療が今年2月から保険適応)などの胃や大腸の疾患をより早期に診断・治療が行えるように検査体制を整えていきますので、新たに芽生えた

「県立安芸津病院 内視鏡検査ステーション」

に是非ご期待ください。

内科消化器部長 赤木盛久 五石宏和

昨年、通院ドックを受けたところ、がんの疑いがあるとの診断を受けました。健診で早く発見されてよかったと思う反面『私の命も短いかな』と精密検査までは不安で、どん底の気分でもごしました。1週間後、当院で検査を受け、がんは否定されましたが、手術をすることになりました。上司や同僚に相談し『私の働いているこの病院で手術をしてもらおう』と、手術を受ける決心をしました。入院までの期間、朝な夕な、入院が近づくにつれ、些細なことで不安になりました。患者の立場になって、改めて患者さんの気持ちがわかりました。不安でいっぱい気持ちを軽くしてくれたのは、笑顔でやさしく声をかけてくださった先生・看護師でした。そして、手術は無事終わりました。家族の毎日の面会もうれしい事でした。

入院を通じて、患者さんと医療者のつながり、信頼関係の大切さを実感し、自分たちの仕事が病気の人にこんなにも大きな影響をする大事な仕事で、地域の病院としてなくてはならない安芸津病院だと痛感しました。現在は仕事へも復帰しました。患者さんが少しでも安心して入院生活が送れるよう、寄り添っていきたいです。



## 編集後記

うらかな季節になりました。春先には枝先の小さな芽が、たくさんの花々となり春から初夏の日差しとなり、少しずつ日没時刻も遅くなっていきます。新年度となり、新たな職員を多く迎え入れました。皆様に早く顔を覚えていただけるように、お声をかけてください。寒暖の差による体調にお気をつけてください。

副院長 重松静香

